

さかい〜統計情報館

The statistical report of Sakai City

Vol.4

今回の数字

63.3%

作成日：平成 19 年 8 月 30 日

作成元：坂井市役所 情報政策課

TEL:0776-50-3014

FAX:0776-67-7509

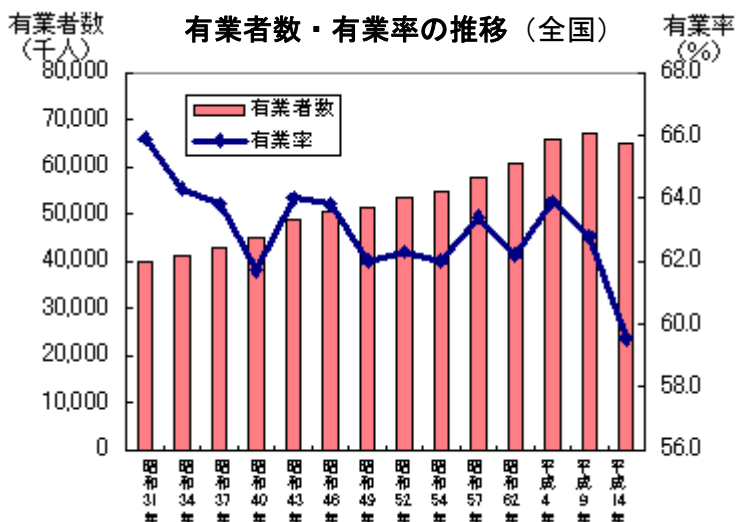
MAIL: jyouhou@city.fukui-sakai.lg.jp

～働く未来を考える～

国家公務員中途採用者選考試験（再チャレンジ試験）の倍率が 164 倍にもなっているそうです。この試験は、バブル経済崩壊後の「就職氷河期」といわれる時代に高校や大学を卒業し、就職難からフリーターとなっている人や出産により退職した主婦に再就職の道を切り開き、雇用情勢の改善を目的として、今年 4 月 1 日現在で 29～39 歳の人を対象に実施されます。最近、「格差社会」という言葉が頻繁に使用され、特に正規雇用とパート・アルバイト等の非正規雇用やフリーター・ニートなど、個人の収入につながる「就業」について取り上げられることが多いように思われます。そこで、今回は、統計調査の結果から就業の状況について紹介します。

就業の状況に関する統計調査として「ふだん」仕事をしているかどうかを調べる「就業構造基本調査」という統計調査があります。この調査は、ふだんの就業・不就業の状態及び 9 月末 1 週間の就業・不就業の状態を調査することで、全国及び地域別の正規・非正規等の就業構造や就業異動の実態、就業に関する希望などを明らかにし、さまざまな行政施策の基礎資料を得ることを目的としています。今年 10 月 1 日を基準日として調査が実施され、昭和 31 年の第 1 回から数えて 15 回目に当たり、全国では、平成 17 年国勢調査の調査区の中から総務大臣が指定した約 3 万調査区の 45 万世帯の 15 歳以上の世帯員、約 105 万人が調査対象になります。坂井市では、54 調査区 810 世帯の約 2,650 人を対象に調査が実施されます。

前回は、5 年前の平成 14 年に実施されました。この年は、全国の完全失業率が年平均で 5.4%と、とても高い水準でした。その調査結果によると、全国の※1)有業者数が昭和 31 年の調査開始以来、初めて減少し、※2)有業率が過去最低（59.5%）となりました。



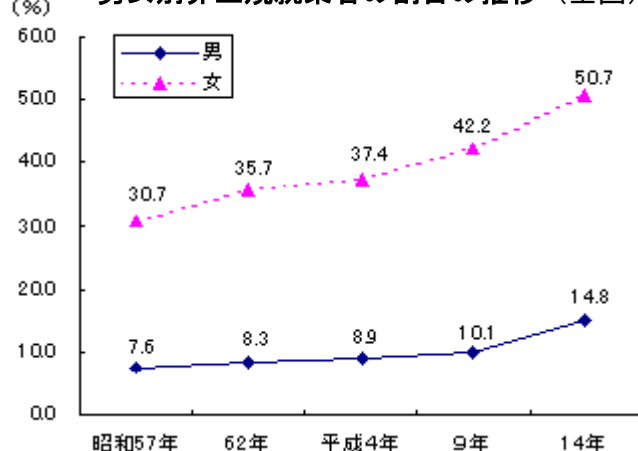
(注) 昭和46年以前は沖縄県を除く。

しかも、前々回（平成 9 年）から約 200 万人、3%もの大きな減少でした。そのような結果の中で、福井県の有業率は全国で最も高い結果（63.5%）となりました。しかし、平成 9 年（66.1%）からは、全国の結果と同様に大きく低下しています。また、全国の男女別非正規就業者の割合の推移をみると、就業者のうちの非正規就業者の割合は、男女ともに年々上昇しており、特に平成 9 年から 14 年の 5 年間の上昇が大きくなっています。また、非正規雇用の比率の変化を年齢の階層ごとにみると、全年齢階層で上昇していますが、特に 20～24 歳の上昇幅が大きいことが分かります。

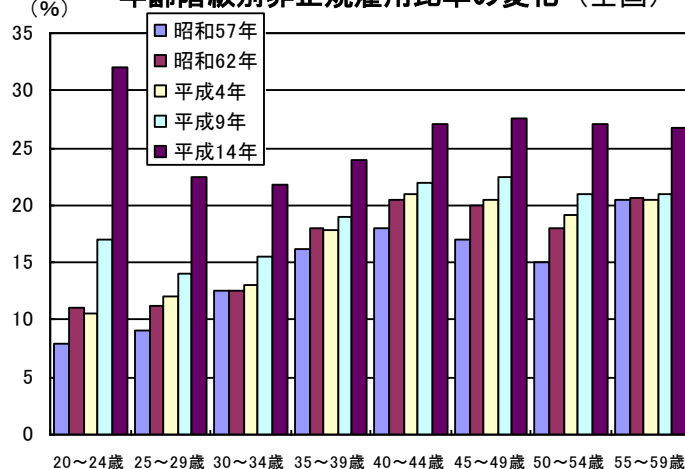
※1) 有業者：ふだん収入を得ることを目的として仕事をしており、調査日以降もしていくことになっている者および仕事は持っているが、現在は休んでいる者。なお、無給の家族従業者は、ふだんの状態として仕事をしていれば有業者。

※2) 有業率：15 歳以上人口に占める有業者の割合。

男女別非正規就業者の割合の推移（全国）



年齢階級別非正規雇用比率の変化（全国）



出典：平成 14 年就業構造基本調査

平成 17 年国勢調査の結果によると、坂井市の※3)労働力人口は 51,857 人で前回調査（平成 12 年）から、868 人（男性 223 人、女性 645 人）増加しました。そのうち就業者は 49,748 人で、※4)就業率は 64.3%（男性 74.5%、女性 55.2%）となっており、全国平均 57.8%（男性 70.3%、女性 46.4%）、福井県平均 61.3%（男性 72.0%、女性 51.6%）と比較すると、全ての項目で上回っています。特に女性の割合が極めて高いことが分かります。福井県の女性の就業率は全国 1 位ですが、その値をも大きく上回っています。また、坂井市の共働き率は 63.3%で、※5)共働き率全国 1 位の福井県の値（58.2%）を大きく上回っています。坂井市の女性は働き者であることが、これらの結果から伺えます。

〔坂井市：労働力人口・就業者の状況〕

項目	平成12年			平成17年		
	計	男	女	計	男	女
15歳以上人口	75,421	35,845	39,576	77,324	36,629	40,695
労働力人口	50,989	28,383	22,606	51,857	28,606	23,251
就業者	49,502	27,487	22,015	49,748	27,271	22,477
完全失業者	1,487	896	591	2,109	1,335	774
非労働力人口	24,305	7,383	16,922	25,074	7,750	17,324
労働力率	67.6	79.2	57.1	67.1	78.1	57.1
就業率	65.6	76.7	55.6	64.3	74.5	55.2
完全失業率	2.9	3.2	2.6	4.1	4.7	3.3
共働き率	64.8			63.3		

出典：国勢調査

※3) 労働力人口：就業者と完全失業者との合計

○就業者：調査週間中、賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入（現物収入を含む。）になる仕事を少しでもした人。

○完全失業者：調査週間中、収入になる仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ公共職業安定所に申し込むなどして積極的に仕事を探していた人。

※4) 就業率：15 歳以上人口に占める就業者の割合。

※5) 共働き率：夫婦のいる一般世帯のうち夫・妻ともに就業している世帯の割合。

★今回の数字の答え★：坂井市共働き率（平成 17 年国勢調査）